

1 幼稚園・認定こども園教育目標等

<p>○教育・保育目標：自ら関わり、主体的に活動する子どもの育成</p> <p>○めざす認定こども園像：みんなで伸びよう・笑顔いっぱい・楽しい認定こども園</p> <p>○めざす園児像：自分を大切にする子・みんなを大切にする子・夢中になって遊ぶ子 気持ちよくあいさつする子</p>
--

2 今年度の重点目標

<p>○認定こども園として教育と保育を一体的に行い目標の具現化に取り組むとともに、学び合い高め合える職員集団を目指す。</p> <p>○積極的に地域に出かけ、自然に触れたり、地域の方と関わったりしながら多様な体験活動の充実を図る。</p> <p>○研修の充実を図り、主体的に活動する園児育成のための保育や特別支援教育にかかる研修を深める。</p>

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
園運営	・園児が安全で安心して園生活を送ることができるような環境構成、保育・教育活動に努める。	B	・安全点検を実施し、施設の安全な管理に努めるとともに、非常訓練を毎月行い、園児・職員共に安全意識を磨く機会とした。
	・園・学級経営方針・保育内容等についてわかりやすく伝えるように努める。	A	・園便りやクラス便り、ホームページやドキュメンテーション等で、保育活動について伝えるとともに、機会を捉えて園児の様子について、保護者に直接伝えるようにした。
教育・保育課程	・自然や生き物と触れ合う機会を大切にし、多様な体験活動を取り入れる。	B	・自然を取り入れた保育や、飼育栽培活動を通して、園児の興味関心が深まるような保育に努めたが園児が主体的に関わり、丹波篠山の自然を感じながら生活するまでには至っていない。今後さらに工夫に努める。
	・小学校や地域の諸団体と連携し、様々な人と関わり温かい人間関係を育む。	C	・小学校との連携では、園児児童間の交流は計画的に実施できたが、職員間で互いの保育・授業内容についての意見交流はできていない。地域の方との自然な形での交流や触れ合いについても課題が残っている。
課題教育	・「眠育」や「食育」を通して園児の基本的な生活習慣の確立に努める。	B	・「眠育」では、午睡前等に睡眠の大切さについて話す機会をもっている。「食育」では、食育便りを毎月発行し、活動状況や情報発信に努めた。
	・園児の興味・関心に応じた環境を整え、「遊び」を通して主体的に活動できるような保育教育活動に努める。	A	・園児の思いに寄り添い、支えることで信頼関係を深め、安心感をもって「こんなことやりたい」と主体的に活動できるような環境構成の工夫に今後も努めていきたい。

4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

・園目標に「自ら」「主体的」ということが入っている。とても大切なことである。小・中学校につながることであり、こども園の時代から念頭において保育してもらっている。今後は、「主体性」の捉えについて、職員間で具体的な姿の共有ができるような取り組みをしてほしい。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

・遊びこそ「主体的」な姿である。教育と保育を一体施設で行っているこども園としての役割を今後もしっかりと担ってほしい。

・安全点検を委員が行った。園職員以外の違った目線での点検となり良かった。駐車場内の安全についても課題があるが、保護者と連携しながら進められるように取り組んでほしい。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
<ul style="list-style-type: none"> ・園児が安心・安全に園生活を送れるような保育・教育活動に努める。 ・園・学級経営方針・保育内容等についてわかりやすく伝えるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検や非常訓練の実施がされている。火災の訓練だけでなく、地震発生や不審者対応などを想定した訓練も行われている。安全・安心があってこそ保育であるので、今後も緊張感をもって継続してほしい。 ・保育室の掲示では写真を多く使用して保護者に分かりやすいものになっている。保護者発信で親子の会話も生まれることが予想されるので今後も続け、家庭と園が連携を取り合い同じ方向に向かって保育・教育を行ってほしい。 ・クラス便りを紙媒体での配布とアプリを使ったデータ配信の両方ですること、保護者にとってはわかりやすくなった。
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然と触れ合う機会を大切にし、多様な体験活動を取り入れる。 ・小学校や地域の諸団体と連携し、様々な人と関わり温かい人間関係を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然を取り入れた保育に取り組んでいるが、更に園周辺へ出かける機会を増やすことで、地域の方と触れ合う機会も増えることが予想され、多様な経験につながると思う。 ・小学校との連携を深め、園児の育ちの段階を理解してもらうことで、就学後の園児のスムーズな生活につながっていくと思う。今後さらに深めてほしい。また、福寿会との交流では、園児にとっても福寿会会員にとっても有意義な会となっているので今後も続けてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・「眠育」や「食育」を通して園児の基本的な生活習慣の確立に努める。 ・「遊び」を通して安心感や達成感を味わい、主体的に生活できるような保育教育活動に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携を深め、継続して取り組んでほしい。 ・「食育」に関しては、栽培活動を通じてや調理員との連携を図りながら進められている。今後も細やかな連携を取りながら進めてほしい。 ・主体的な姿を大切に、園児と保育者が共に進める活動が展開されている。園児の「やってみたい」という思いを大切に、一人一人に応じた保育・教育に努めてほしい。

